

科目ナンバリング		U-LAS20 10001 SB48							
授業科目名 <英訳>	英語リーディング ER23 1E4 English Reading			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 黒田 一平				
群	外国語科目群		分野(分類)			使用言語	日本語		
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習(外国語)(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	金1		配当学年	1回生	対象学生	全学向
[技能領域]									
アカデミックリーディング									
[授業の概要・目的]									
<p>本授業は、アカデミックリーディングに必要となる読解力や文法知識、教養を獲得することを目的とする。</p> <p>映画・日常会話・ニュース・プレゼンテーションなどの幅広い教材を用いて、それらの間の文体的な特徴の違いや、多様な言語文化と思想について学ぶ。</p> <p>前半は精読を中心とし、英文の正確な理解や、日・英語の発想や視点の違いについて扱う。</p> <p>後半は速読・多読を視野に入れ、要約課題などを取り入れる。</p> <p>適宜音声・映像教材を用いて書き取り課題を行い、リスニング力の向上を目指す。</p> <p>また、『京大学術語彙データベース 基本英単語1110』を用いた小テストを行い、語彙力の維持・強化を図る。</p>									
[到達目標]									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学術英語に資する語彙力を身につける。 ・ 一定以上のレベルの英文を、辞書なしで正確に読解できるようになる。 ・ 一定以上の速さの音声を聞き取ることができるようになる。 ・ 段落や文章全体の内容、著者(話者)の意図を正確に把握できるようになる。 ・ 辞書さえあればどんな英文でも読めるようになる。 									
[授業計画と内容]									
第1回 授業概要、評価方法などの説明									
第2回～第14回(共通)									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎回授業開始時に『京大学術語彙データベース 基本英単語1110』を用いた小テストを行う。 ・ 映画鑑賞(各回10分程度を予定、扱う映画については初回に指示)および内容確認。 									
第2回～第5回									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 映画や文学等の翻訳作品における英文を中心に、英語特有の表現や日英の発想の違いについて学ぶ。 									
第6回～第8回									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 主にイギリス英語の日常会話を題材に、聞き取りや読解を行う。 									
第9回～第11回									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 主にVOA等のニュースを題材に、読解や要約を行う。 									
第12回～第14回									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 主にTED等のプレゼンテーションを題材に、要約やディスカッションを行う。 									
----- 英語リーディング ER23(2)へ続く -----									

英語リーディング ER23(2)

期末テスト

第15回 フィードバック

(授業進度等により、変更する可能性がある。)

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

- ・ 毎回授業開始時に行う小テスト：30%
- ・ 宿題や授業中の課題への取り組み、授業態度：40%
- ・ 【到達目標】の達成度を判断する期末テスト：30%

以上を100点満点換算し、本学の評価基準で判定する。
ただし、5回以上欠席した場合は成績評価の対象としない。

[教科書]

京都大学英語学術語彙研究グループ+研究社 『京大学術語彙データベース基本英単語1110』（研究社）ISBN:978-4327452216（適宜プリント・資料を配布する。）

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

- ・ 毎回授業の最後に次回の小テストの範囲を指定するので、準備しておくこと。
- ・ 毎回授業の最後に次回分の映画のスク립トを配布するので、目を通しておくこと。（逐語訳する必要はないが、わからない単語等があれば辞書で調べておくこと。）
- ・ その他、宿題として読解や要約の課題英文を課す。詳細はその都度指示する。

[その他（オフィスアワー等）]

授業には必ず辞書を持参すること（紙の辞書、電子辞書、ネット・アプリ辞書いずれも可）。
KULASISあるいはPandA上で課題や資料を配布するため、ネットに接続できる端末（スマホ等）を持参することが望ましい。